

# 令和4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：消防課  
担当名：消防広域担当  
内線：8171

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B5	防災ヘリコプター総合運航管理費	一般会計	総務費	防災費	消防防災費	防災ヘリコプター運航管理費
事業期間	平成2年度～ 令和5年度	根拠法 令	消防組織法第30条	針路 分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール SDGsターゲット 11 11-1, 11-2, 11-3,

1 事業の概要  防災ヘリコプターの円滑かつ効果的な運航を行うことにより、防災体制の充実を図る。  △440千円 △1,581千円 △418千円 △207千円	5 事業説明
	(1) 事業内容
	ア 防災ヘリコプター運航費 797,532千円 防災ヘリコプター運航管理委託、防災ヘリの修繕、部品・燃料等の購入
	イ ヘリテレ通信管理費 15,464千円 ヘリコプターテレビ電送システムの点検委託
(2) 事業計画 防災ヘリコプター3機の運航体制を整備し、機動力及び高速性を活かした各種災害活動(火災、消火、救急、調査、救援)を行うことで、365日24時間体制で、県民の安心・安全の確保に努める。	
(3) 事業効果 防災ヘリコプター3機体制により、防災体制を盤石なものにできる。 (ア) 困難な山岳救助事案では2機目を支援機として出場させることで、より安全な救助活動が可能 (イ) 山林火災事案では2機同時出場させることで、より早期に消火が可能 (ウ) 県外の災害に応援出場中でも他の機体で県内の災害に対して滞りなく対応可能となる 令和3年度(災害：75件 防災・自隊訓練：520件) 令和2年度(災害：102件 防災・自隊訓練：496件)	
(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 防災ヘリコプターの運航体制は、県と市町村と民間の三位一体で運航している。 県：機体購入費、運航管理費を負担、市町村：航空隊員を派遣、民間航空会社：機体の操縦、整備、格納	
(5) 補正予算の概要 経費節約による減額 △2,646千円	

予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
	使用料・手数料							
決定額	△2,646						△2,646	835,269
現計額	837,915	360					837,555	

## 事業内訳書

事業名	防災ヘリコプター総合運航管理費		
単位事業名	防災ヘリコプター運航費	予算額	△ 440千円

(単位 : 千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△95	—	経費節約による減額
需用費	△90	—	経費節約による減額
役務費	△255	—	経費節約による減額
合計	△440	—	

単位事業名	活動用資機材購入費	予算額	△ 1,581千円
-------	-----------	-----	-----------

(単位 : 千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,581	—	経費節約による減額
合計	△1,581	—	

単位事業名	防災航空センター運営費	予算額	△ 418千円
-------	-------------	-----	---------

(単位 : 千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△62	—	経費節約による減額
需用費	△42	—	経費節約による減額
役務費	△314	—	経費節約による減額
合計	△418	—	

単位事業名	山岳遭難事故防止啓発事業	予算額	△ 207千円
-------	--------------	-----	---------

(単位 : 千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△46	—	経費節約による減額
需用費	△154	—	経費節約による減額
役務費	△7	—	経費節約による減額
合計	△207	—	